

■ 地方政界 クリエイト伊藤 秀昭

設楽町議会3月定例会は3月11日に一般質問を行い、6人の議員が活発な議論を行った。

3月2日の開会時に横山光明町長は「住みやすくなる気のあるまち、明るく希望の持てるまちの実現をめざす」と抱負を述べ、「人口3000人維持のために、若者の移住定住対策に取り組む」と決意を述べた。

■ 移入・定住対策

金田敏行氏（無所属）は設楽町の若者がリフォームして住みやすくするには50万円、新築するときには500万円の補助

金じゅう思い切った政策の効果を聞きたい。特に新築5000万円ドリーム50万円を比較しての議論は興味深く聞かせていただいた。また一ターン希望者が住むつとする認き方が、なかなか見き方が、なかなか見きかない現実も問題になつた。

町長も答弁に立ち、「若者が定住しようとするときの後押しをする政策だ」と強調した。

■ 歴史民俗資料館 高森陽一郎氏（同）は清音地区に建設が進められている歴史民俗資料館の目玉は何か、コンセプトが

## 若者移住・定住対策に質問集中

■若者移住・定住対策に質問集中

能登の伝統民俗文化と関わってきただ高森氏にどうては、消化不良だったことが表情に表れていた。

■まちづくりの概要

夏目忠留氏（同）も移住・定住施策について取り上げた。特に町内4地区で畠

めとなり、それが地域が成り立たなくなつてきている現実を示していたが、その現実にどう立ち向かうのかの議論が欲しかった。

■設楽町総合戦略「設楽町の人口減少」の原因は国構造改革や合併押しつけ、タム計画にあります。根本を「まかし」て事態対処策を提

めとなり、それが地域が成り立たなくなつてきている現実を示していたが、その現実にどう立ち向かうのかの議論が欲しかった。

■ダム交付金「田口高校河野清氏（同）は「設楽タムができない」とも運営し、支援策を作り上げていくと答えていたが、取り組みが後手にならぬといふ提案だった。

■設楽町総合戦略「設楽町の人口減少」の原因は国構造改革や合併押しつけ、タム計画にあります。根本を「まかし」て事態対処策を提

めとなり、それが地域が成り立たなくなつてきている現実を示していたが、その現実にどう立ち向かうのかの議論が欲しかった。

■ダム交付金「田口高校河野清氏（同）は「設楽タムができない」とも運営し、支援策を作り上げていくと答えていたが、取り組みが後手にならぬといふ提案だった。

■ダム交付金「田口高校河野清氏（同）は「設楽タムができない」とも運営し、支援策を作り上げていくと答えていたが、取り組みが後手にならぬといふ提案だった。